



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5563 URL <http://www.nippondenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 上 直 TEL 03-6860-6800
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	47,939	20.1	6,362	37.9	4,574	57.8	3,455	85.2
2020年12月期第3四半期	39,906	△26.4	4,613	—	2,898	—	1,865	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 4,643百万円 (179.7%) 2020年12月期第3四半期 1,660百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	23.54	—
2020年12月期第3四半期	12.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	87,586	59,780	68.2
2020年12月期	86,171	56,430	65.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 59,712百万円 2020年12月期 56,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年12月期	—	4.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	20.4	5,500	79.6	4,000	52.9	27.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	146,853,367株	2020年12月期	146,775,767株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	8,009株	2020年12月期	1,689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	146,804,450株	2020年12月期3Q	146,666,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。上記の予想に関する事項につきましては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大や半導体供給不足により景気回復のペースが鈍化した地域はあったものの各国でワクチン接種が進んだことなどにより、経済活動は概ね回復基調となりました。その一方で、新たなリスクとして中国における不動産業界の不良債権問題や電力不足問題が発生するなど、予断を許さない状況が続いています。

日本経済においては、ワクチン接種が進んだことなどにより感染拡大は収まりつつあったものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の長期化による消費の停滞に加えて、円安や世界的な半導体供給不足と東南アジアからの部品供給不足による自動車の減産などにより、景気回復のペースは緩やかなものとなりました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ20.1%増加し47,939百万円(前年同期実績39,906百万円)となりました。また、利益面につきましては、前年同期と比べ棚卸資産評価損の戻し入れが大幅に減少したことによるマイナス影響はあったものの、経常利益は57.8%増加し4,574百万円(同2,898百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても85.2%増加し3,455百万円(同1,865百万円)となり、前年同期と比べ増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

(合金鉄事業)

当第3四半期連結累計期間における世界の粗鋼生産量は、新型コロナウイルスの感染抑制状況や経済対策により国・地域毎に濃淡はあるものの、総じて回復基調となり、14億6,120万トンと前年同期と比べ7.8%増加しました。しかし、今後の粗鋼生産については、感染再拡大による影響など、不透明感も高まっています。また、国内粗鋼生産量は、一部で需要の弱さが増しているものの7,218万トンとなり、前年同期と比べ17.9%増加しました。

こうした状況の中、主力製品である高炭素フェロマンガン製品市況は、世界的な需給引き締まりにより上昇に転じました。販売数量につきましても、需要家の操業回復が顕著であったため前年同期と比べ大幅に増加しました。この間、一部顧客との取引において、製品市況の変動に伴う損益の大幅な変動を生じさせないような仕組みを取り入れております。

以上の結果、合金鉄事業の当期業績は、売上高・経常利益ともに前年同期を上回りました。

(機能材料事業)

世界的な半導体不足など、部品調達難による自動車の減産はあったものの、水素吸蔵合金およびリチウムイオン電池正極材受託事業など、電池材料の販売は前年同期と比べ増加しました。

酸化ほう素の販売は、ディスプレイ用ガラス基板向け販売が好調であったため前年同期と比べ増加しました。

マンガン化成品は一部需要家の在庫調整があり、販売量は減少したものの、高付加価値品の販売増により増益となりました。

酸化ジルコニウムなど、その他の製品の販売は前年並みとなりました。

以上の結果、機能材料事業の当期業績は、売上高・経常利益ともに前年同期を上回りました。

(環境事業)

環境システム事業につきましては、モバイル型イオン交換樹脂塔の再生減少とエネファーム向けイオン交換樹脂の販売減少により、売上高・経常利益ともに前年同期を下回りました。

中央電気工業の焼却灰溶融固化処理事業につきましては、焼却灰収集量および処理量ともに計画量を上回ったことで売上高・経常利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、環境事業の当期業績は、売上高・経常利益ともに前年同期並みとなりました。

(電力事業)

電力事業につきましては、FIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）を利用した売電事業として2カ所の水力発電所が順調に稼働し、気象条件にも恵まれたため売電量が増加しました。

以上の結果、電力事業の当期業績は、売上高・経常利益ともに前年同期並みとなりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、2021年8月11日に発表した数値を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,603	9,274
受取手形及び売掛金	14,706	18,365
商品及び製品	10,775	8,753
仕掛品	240	275
原材料及び貯蔵品	10,662	9,996
その他	1,974	1,506
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	47,949	48,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,842	5,044
機械装置及び運搬具(純額)	8,227	8,245
土地	5,298	5,298
リース資産(純額)	3,674	3,539
建設仮勘定	87	631
その他(純額)	291	278
有形固定資産合計	22,421	23,037
無形固定資産	146	149
投資その他の資産		
投資有価証券	9,447	10,216
長期貸付金	4,813	4,899
繰延税金資産	893	743
その他	498	382
投資その他の資産合計	15,653	16,241
固定資産合計	38,221	39,427
資産合計	86,171	87,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,296	5,279
短期借入金	2,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,458	2,008
リース債務	139	148
未払法人税等	196	608
賞与引当金	200	689
役員賞与引当金	—	27
事業整理損失引当金	253	44
設備関係支払手形	83	145
その他	3,760	3,457
流動負債合計	12,387	12,408
固定負債		
長期借入金	11,310	9,408
リース債務	4,446	4,356
繰延税金負債	370	394
退職給付に係る負債	797	820
その他	429	416
固定負債合計	17,352	15,396
負債合計	29,740	27,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,057	11,072
資本剰余金	21,412	21,427
利益剰余金	24,786	26,919
自己株式	△0	△0
株主資本合計	57,256	59,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	497	930
繰延ヘッジ損益	△9	△5
為替換算調整勘定	△1,230	△485
退職給付に係る調整累計額	△146	△144
その他の包括利益累計額合計	△888	294
非支配株主持分	63	68
純資産合計	56,430	59,780
負債純資産合計	86,171	87,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	39,906	47,939
売上原価	31,419	37,186
売上総利益	8,487	10,752
販売費及び一般管理費	3,874	4,390
営業利益	4,613	6,362
営業外収益		
受取利息	30	101
受取配当金	46	53
為替差益	—	142
その他	268	99
営業外収益合計	345	396
営業外費用		
支払利息	372	361
持分法による投資損失	816	639
操業休止関連費用	329	387
固定資産除却損	378	472
その他	163	322
営業外費用合計	2,060	2,184
経常利益	2,898	4,574
特別利益		
投資有価証券売却益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
減損損失	275	462
投資有価証券評価損	498	—
その他	—	1
特別損失合計	774	464
税金等調整前四半期純利益	2,151	4,110
法人税、住民税及び事業税	361	660
法人税等調整額	△76	△7
法人税等合計	284	653
四半期純利益	1,867	3,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,865	3,455

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,867	3,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	436
繰延ヘッジ損益	91	△22
退職給付に係る調整額	△3	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△368	770
その他の包括利益合計	△207	1,186
四半期包括利益	1,660	4,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,658	4,637
非支配株主に係る四半期包括利益	1	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも当連結会計年度中は続くことを前提として、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、将来の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(表示方法の変更)

従来「特別損失」に表示しておりました「固定資産除却損」については、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号)における報告セグメントの利益を営業利益から経常利益に変更したことを契機として、当連結会計年度より「営業外費用」に表示しております。この変更は、「固定資産除却損」が、今後設備更新を定期的に行うこと等により毎年発生することが見込まれ、業績評価を行う上で重要な費用項目であると判断したことによるものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「特別損失」の「固定資産除却損」378百万円を組替えた結果、「経常利益」が378百万円減少しておりますが、「税金等調整前四半期純利益」に影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	23,275	7,111	4,426	945	35,758	4,148	39,906	—	39,906
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	61	109	19	—	189	132	322	△322	—
計	23,336	7,220	4,445	945	35,948	4,280	40,229	△322	39,906
セグメント利益	828	724	1,025	211	2,790	107	2,898	—	2,898

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「合金鉄事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては275百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,244	8,339	4,461	999	43,045	4,893	47,939	—	47,939
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	77	114	17	—	209	126	335	△335	—
計	29,322	8,454	4,478	999	43,255	5,019	48,274	△335	47,939
セグメント利益	2,090	1,005	1,014	211	4,321	253	4,574	—	4,574

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、中期経営計画(2021~2023年)の策定にあたり意思決定や業績評価の区分を見直した結果、合金鉄事業における持分法投資損益等の重要性が増加していると判断したため、報告セグメントの利益の開示を四半期連結損益計算書の営業利益から経常利益に変更しております。

また、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。